

みち もつ じんしゅ たす もの へい もつ てんか し そ こと かえ
道を以て人主を佐くる者は、兵を以て天下に強かず。其の事は還る
この し お ところ けいきよくここ しょう たいぐん のち かなら きょうねん
を好む。師の処る所は、荆棘焉に生じ、大軍の後は、必ず凶年
ぜんしや か ほこ な おご な か や
あり。善者は果ちて矜ること勿く、果ちて驕ること勿く、果ちて已
え もの さかん すなわ お こ ふどう い ふどう
むを得ずとす。物は壮なれば則ち老ゆ。是れを不道と謂う。不道
はや や
は早く已む。

【大体の意味内容】宇宙の「道理」にもとづいて君主の政治を補佐する人は、決して軍事力で
せかい きようせい ぶりよくこうし この ぎやくしゅう まね ぐんたい
世界を強制することはない。武力行使は、好んで逆襲を招くようなものだからである。軍隊
ちゅうとん とち あ は いばら とげ も そうもく おお せんそう
が駐屯した土地は、荒れ果てて荊や棘を持った草木ばかり生い茂ってしまう。大きな戦争の
あとは、その土地の生産力がダメージを受け、必ず凶作と飢饉に見舞われる。「道理」に従
い ぜんしや しやうり おさ ほこ さんだい かま しやうり おさ
って生きる善者は、勝利を収めても、それを矜って尊大に構えることはない。勝利を収めても、
それで驕り高ぶることもない。勝利を収めても、やむを得ず戦ってしまったのだと嘆息する。

おのれ きようそう たの ちやうし の もの はや ろうか すいぼう みち
己の強壯さを恃んで調子に乗る者ほど、早く老化し衰亡への道をたどる。このような、
「道理」から逸脱してゆくことを「不道」という。「不道」なる者は、早々に滅亡するものだ。

いままで小説とか映画やドラマ、漫画などで、何万人もの大軍が遠征して戦いあつというストーリー
に触れてきましたが、いつも疑問に思うことがあります。トイシはどうするのだろう？きちんとした
施設などないだろうからあちこちでウンコや小便をたれ流す？土にとっては、長い時間をかければ栄
養になるかもしれないけれど、その場で寝起きして食事をする兵士たちにとっては衛生上問題あるでし
よう。用を足す場所を決めますか。たとしても、十万の軍勢ならば、十万人のウンコと小便です。それ
を毎日です。本当にどうするのでしょう。遠征で移動していても、駐屯した場所は、十万人分受け取っ
てしまう。それは荒れるでしょうね。

食事はどうする？大将などのお偉いさんは、専用のコックさんに作らせたようですが、その他の十万
人は、自分の背嚢に鍋釜お椀を入れて持ち歩き、支給された食料を煮炊きしていたそうです。きち
んと支給されているうちはいいけれど、戦いが長引けば補給が追い付かなくなることもあります。十万

